

# 私の想い

## 【地域の中の 大崎中を目指して】



大崎中学校 P T A  
会 長 也  
西 竹 信 也

平成二十六年四月に新たに開校された大崎中学校は早いもので今年四年目を迎えています。

私は、統合前の旧大崎中学校の時から五年間 P T A の役員に携わり、これまで校長先生を始めとする先生方や保護者の方々の出会いの中で親としての責任や学校や部活動でのあるべき保護者の姿など、自分の未熟さを痛感させられた日々でもありました。

七月に行われた合唱コンクールを参観して、その素晴らしい歌声を聞きながら、長女が入学してから今までの七年間の想いが沸々と湧き出てきました。服装の乱れ、窓ガラスや備品の器物破損など荒廃していく母校が、子ども達が心配な日々が続きました。そんな中で新生大崎中の誕生に不安は募るばかりでしたが、新生大崎中は生まれ変わりました。思春期真っただ中の子ども達がクラス毎に心を一つにして歌っていました。その姿に深い感銘を受け、大崎中の一員であることが喜びに感じられたひとときでした。

また、以前は平気で遅刻をしていた生徒たちが、生徒会や野球部の朝のあいさつ運動の姿を見て日に日に登校する時間も早くなり、中学校が掲げている語先後礼のあいさつが少しずつできるところになっていきます。先生方や子ども達のがんばる姿を見て、次は私たち保護者が努力する番だと感じています。今までのように学校に頼ってばかりだった P T A 活動も今後は、大崎中を支えていただいている「サポーター輝」を中心とした地域コミュニティの力を借りながら、地域の中の大崎中学校であり、誰もが誇れる大崎中学校になるよう、P T A 一丸となって見守り、支えながら盛り立てて行きたいと思えます。



朝のあいさつ運動の様子

## 編集後記

月日の経つのは早いもので私も町議会の委員会構成も後期2年の新体制へのバトンが渡され、私が今回この欄を担当することになりました。

季節は、夏本番となりましたが、海・山・川の事故に加え、近年、地震や台風、大雨の影響等により全国各地で、これまでの想定を超える被害が多々見られるようになって来ました。

これら頻発する大規模災害については、地球規模での温暖化等による海面の上昇などが気象変動の要因のひとつと言われておりますが、今後は、AI技術の活用により、地震予知を含めてこれまでに以上に原因解明の研究が進むことを望んでいます。

よく「災害は、忘れたところにやってくる」と言われることわざがありますが、町民の皆様方が日頃から身の回りの安全点検と備えを十分に行い、真に安心安全な生活を送っていただきますよう祈念申し上げます。

議会広報広聴常任委員会  
(吉原 信雄)

委員長 吉原信雄 副委員長 児玉孝徳  
委員 中山美幸 委員 宮本昭一  
委員 神崎文男 委員 稲留光晴

発行責任者 大崎町議会議長 小野光夫